



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月7日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東
 コード番号 7453 URL <https://www.ryohin-keikaku.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堂前 宣夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 堀口 健太 TEL 03-3989-5972
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切り捨て）

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	435,797	17.5	22,672	△8.7	24,133	△15.5	18,682	△6.6
2022年8月期第3四半期	370,756	7.5	24,832	△29.4	28,568	△25.6	19,998	△31.3

（注）包括利益 2023年8月期第3四半期 18,402百万円（△36.5%） 2022年8月期第3四半期 28,975百万円（△14.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	70.77	70.61
2022年8月期第3四半期	75.95	75.77

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期第3四半期	414,801	253,195	60.2	944.34
2022年8月期	399,324	244,852	60.5	915.93

（参考）自己資本 2023年8月期第3四半期 249,525百万円 2022年8月期 241,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2023年8月期	-	20.00	-	-	-
2023年8月期（予想）	-	-	-	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	585,000	17.9	30,000	△8.5	29,700	△20.2	18,600	△24.3	70.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	280,780,000株	2022年8月期	280,780,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	16,547,612株	2022年8月期	17,053,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	264,000,723株	2022年8月期3Q	263,296,916株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展、移動制限の緩和等により、経済活動は緩やかに再開の動きが見られました。一方、世界的な資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱、急激な円安の進行等により、依然として国内外における経済の先行きは不透明な状態が続いています。また、生活必需品の値上げやエネルギーコストの上昇も相次いでおり、消費者の節約志向も強まっています。

このような状況の中、当社グループは、第二創業にあたり、「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献することを企業理念と定め、以下に記載する二つの使命を果たすべく事業展開を進めました。

第一の使命は、日常生活の基本商品群を誠実な品質と倫理的な視点から開発し、使うことで社会を良くする商品を、手に取りやすい価格で提供すること、そして第二の使命は、店舗は各地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域の皆さまと課題や価値観を共有し、共に地域課題に取り組み、地域への良いインパクトを実現することです。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

営業収益	4,357億97百万円（前年同期比 17.5%増）
営業利益	226億72百万円（前年同期比 8.7%減）
経常利益	241億33百万円（前年同期比 15.5%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	186億82百万円（前年同期比 6.6%減）

営業収益は、新規出店に伴う店舗数の増加により増収となったものの、急激な円安および原材料の高騰に伴う仕入れ価格の上昇により、営業総利益が伸び悩み、営業利益は減益となりました。

しかしながら、第3四半期に入り、価格改定を機に国内事業の収益構造を立て直したことに加え、海外事業も引き続き好調に推移したことで、当第3四半期会計期間の業績は、増収増益となり、通期の業績予想の達成に向け順調な進捗となりました。

また、当第3四半期末における無印良品（ライセンスドストアを含む）の店舗数は国内555店舗、海外617店舗となり、国内外計1,172店舗となりました。国内では、地域に根付いた食品スーパーマーケットとの隣接店を中心に65店舗を出店、海外では、中国大陸、台湾、タイ等に48店舗を出店し、店舗網の拡充を図りました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 国内事業

国内事業における当第3四半期連結累計期間の営業収益は2,618億66百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益は50億43百万円（同61.0%減）と、増収減益となりました。

営業収益は、生活圏への出店を積極的に進めたことにより、増収となりました。一方、円安および原材料高の影響により、営業総利益が伸び悩んだほか、出店経費や商品マーケティング費用の増加等により、営業利益は減益となりました。こうした状況の中、2023年1月から2月にかけて実施した一部商品の価格改定以降、営業総利益の改善が進み、当第3四半期会計期間の業績は増益に転じました。

② 東アジア事業

東アジア事業における当第3四半期連結累計期間の営業収益は1,247億26百万円（前年同期比25.5%増）、セグメント利益は226億66百万円（同50.3%増）と、増収増益となりました。

中国大陸におきまして、第1四半期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、店舗運営に大きな支障が生じましたが、2023年1月以降、経済活動の再開により、売上が回復したことで、増収増益となりました。そのほか、台湾、香港、韓国も増収増益となりました。

③ 東南アジア・オセアニア事業

東南アジア・オセアニア事業における当第3四半期連結累計期間の営業収益は230億52百万円（前年同期比51.0%増）、セグメント利益は33億46百万円（同114.4%増）と、増収増益となりました。

当期より、現地の文化や気候に合わせて独自に開発したアセアン向けの商品が現地のお客さまの支持を得て、タイ、マレーシアを始めとする東南アジア各国の売上が好調に推移し、大幅な増益となりました。

④ 欧米事業

欧米事業における当第3四半期連結累計期間の営業収益は261億52百万円（前年同期比37.0%増）、セグメント利益は23億43百万円（前年同期は8億30百万円のセグメント損失）となりました。

北米、欧州ともに売上が伸長し、増収増益となりました。なかでも、北米は店舗運営力の強化を図ったことで、業績が好調に推移しました。

[ESGの取り組み]

創業時から変わらない「社会や人の役に立つ」という根本方針のもと、第二創業においても、ESG経営のトップランナーを目指し、提供する商品やサービス、地域に根差す店舗を軸とした活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを進めています。

・商品におけるESG：

当社では、環境負荷を低減した商品の提供、ひいてはすべての商品が使用後も資源循環するようなデザイン、設計（サーキュラーデザイン）にすることを目指しています。その取り組みの一つとして、お客さまに長年愛用いただいた無印良品の服を2010年より回収し、洗いなおしたり、染めなおしたりすることで再生した衣服の販売を2015年より開始し、徐々に商品を拡大しています。このたび、より多くのお客さまからの協力により、服の回収が進んだことから、洗いなおした服の取り扱い店舗を現在の2店舗から8店舗に拡大し、数量限定で5月30日より発売しました。

・事業活動でのESG：

5月31日、当社とグループ企業である株式会社MUJI HOUSEは、農林水産省の掲げる「木材利用（ウッド・チェンジ）促進による、脱炭素社会・持続可能な社会の実現」の趣旨に賛同し、「木材利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結しました。当社ではこれまでも店舗での地域木材の活用を進めてまいりましたが、今後、建設予定の店舗において、構造材や内外装に木材を積極的に活用することにより、カーボンニュートラルの実現や山村の活性化等にご貢献していきます。また、木材利用の意義やメリットについて木育活動などを通じて積極的に情報発信も行っています。

・土着化活動でのESG：

千葉県鴨川市総合交流ターミナル「里のMUJI みんなみの里」のCafé&Meal MUJIを4月28日にリニューアルオープンしました。当社は、2017年4月に鴨川市と「地域活性化に関する協定」を締結し、翌年3月には総合交流ターミナル「みんなみの里」の指定管理者に認定され、4月より施設運営を開始しました。2023年4月に、さらに5年間、指定管理者として指定を受けたことを機に、県内外からの利用者増をはかるため、Café&Meal MUJIをリニューアルし、ワーケーションスポットを設置しました。また、鴨川市の皆様に気軽に地元農産物を味わっていただき、地産地消を活性化すべく鴨川市民割も開始しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は4,148億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ154億76百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加93億92百万円、受取手形及び売掛金の増加31億37百万円、商品の減少50億66百万円、有形固定資産の増加85億45百万円、及び投資有価証券の減少31億32百万円によるものです。

負債は1,616億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ、71億34百万円増加しました。これは主に、買掛金の減少132億51百万円、短期借入金の増加113億72百万円、未払費用の増加29億50百万円、及び未払法人税等の増加42億33百万円によるものです。

純資産は2,531億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ、83億42百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加76億37百万円、その他有価証券評価差額金の減少16億49百万円、及び繰延ヘッジ損益の増加21億7百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の60.5%から60.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月13日付「2023年8月期 第2四半期決算短信」にて発表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	90,162	99,555
受取手形及び売掛金	10,268	13,406
商品	129,202	124,136
仕掛品	297	287
貯蔵品	59	76
未収入金	15,829	14,615
その他	16,405	14,191
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	262,206	266,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,646	79,068
減価償却累計額	△41,415	△44,960
建物及び構築物(純額)	29,230	34,108
機械装置及び運搬具	5,285	5,448
減価償却累計額	△3,784	△4,080
機械装置及び運搬具(純額)	1,500	1,368
工具、器具及び備品	27,938	31,468
減価償却累計額	△19,711	△21,728
工具、器具及び備品(純額)	8,227	9,739
土地	1,558	1,558
リース資産	76	76
減価償却累計額	△34	△39
リース資産(純額)	41	36
使用権資産	57,886	65,259
減価償却累計額	△26,908	△31,577
使用権資産(純額)	30,978	33,682
建設仮勘定	1,545	1,135
有形固定資産合計	73,082	81,627
無形固定資産		
のれん	1,767	1,001
ソフトウェア	25,686	26,152
その他	2,173	2,222
無形固定資産合計	29,627	29,376
投資その他の資産		
投資有価証券	4,573	1,441
繰延税金資産	2,884	2,794
敷金及び保証金	21,442	22,833
その他	5,604	10,574
貸倒引当金	△98	△93
投資その他の資産合計	34,407	37,549
固定資産合計	137,118	148,553
資産合計	399,324	414,801

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,462	23,210
短期借入金	3,902	15,275
1年内返済予定の長期借入金	2,232	2,382
未払金	11,475	10,646
未払費用	6,725	9,675
未払法人税等	1,447	5,680
リース債務	10,003	10,797
賞与引当金	1,336	1,722
役員賞与引当金	78	61
その他	5,259	6,065
流動負債合計	78,923	85,517
固定負債		
長期借入金	31,906	31,539
繰延税金負債	6,379	5,334
リース債務	28,406	29,770
役員退職慰労引当金	29	29
株式給付引当金	545	905
その他	8,281	8,509
固定負債合計	75,548	76,088
負債合計	154,472	161,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	29,586	29,620
利益剰余金	219,534	227,171
自己株式	△31,082	△30,188
株主資本合計	224,805	233,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,309	660
繰延ヘッジ損益	7,577	9,684
為替換算調整勘定	6,863	5,810
その他の包括利益累計額合計	16,750	16,155
新株予約権	664	614
非支配株主持分	2,632	3,055
純資産合計	244,852	253,195
負債純資産合計	399,324	414,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
営業収益	370,756	435,797
営業原価	195,710	236,304
営業総利益	175,046	199,493
販売費及び一般管理費	150,213	176,820
営業利益	24,832	22,672
営業外収益		
受取利息	130	250
受取配当金	40	45
為替差益	3,495	1,734
補助金収入	828	73
その他	390	615
営業外収益合計	4,884	2,719
営業外費用		
支払利息	1,081	1,150
その他	67	108
営業外費用合計	1,149	1,258
経常利益	28,568	24,133
特別利益		
固定資産売却益	1	4
投資有価証券売却益	1	2,960
その他	1	4
特別利益合計	4	2,969
特別損失		
固定資産除却損	1,820	67
その他	1	—
特別損失合計	1,822	67
税金等調整前四半期純利益	26,749	27,035
法人税等	6,640	8,137
四半期純利益	20,108	18,898
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	216
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,998	18,682

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	20,108	18,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	△1,649
繰延ヘッジ損益	4,291	2,107
為替換算調整勘定	4,830	△953
その他の包括利益合計	8,866	△495
四半期包括利益	28,975	18,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,669	18,087
非支配株主に係る四半期包括利益	305	315

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年9月1日至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	東南アジ ア・オセア ニア事業	欧米事業	計			
営業収益								
商品・製品売上高	235,926	99,189	15,224	19,002	369,342	—	—	369,342
営業収入	1,079	203	40	91	1,414	—	—	1,414
顧客との契約から 生じる収益	237,006	99,393	15,264	19,093	370,756	—	—	370,756
外部顧客への売上 高	237,006	99,393	15,264	19,093	370,756	—	—	370,756
(1)外部顧客への営 業収益	237,006	99,393	15,264	19,093	370,756	—	—	370,756
(2)セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	0	3	—	—	3	338	△342	—
計	237,006	99,396	15,264	19,093	370,760	338	△342	370,756
セグメント利益 又は損失(△)	12,923	15,084	1,560	△830	28,736	71	△3,975	24,832

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3,975百万円にはセグメント間取引消去△42百万円、棚卸資産の未実現利益消去1,898百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,831百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	東南アジ ア・オセア ニア事業	欧米事業	計			
営業収益								
商品・製品売上高	259,235	124,434	23,009	26,106	432,785	—	—	432,785
営業収入	2,630	292	42	45	3,011	—	—	3,011
顧客との契約から 生じる収益	261,866	124,726	23,052	26,152	435,797	—	—	435,797
外部顧客への売上 高	261,866	124,726	23,052	26,152	435,797	—	—	435,797
(1)外部顧客への営 業収益	261,866	124,726	23,052	26,152	435,797	—	—	435,797
(2)セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	—	3	—	—	3	358	△362	—
計	261,866	124,730	23,052	26,152	435,801	358	△362	435,797
セグメント利益 又は損失(△)	5,043	22,666	3,346	2,343	33,399	8	△10,734	22,672

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△10,734百万円にはセグメント間取引消去16百万円、棚卸資産の未実現利益消去△4,084百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,666百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」記載のとおりであります。